民報 あばしり
NO.1442
12月10日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三－四四五八
FAX 四三－四四五七

第４回定例会始まる　５日～14日

新庁舎建設費増や勤勉手当支給

第４回定例会が５日に開会されました。一般会計、介護保険特別会計などの補正予算と職員給与条例の改正、福祉センターやスポーツ施設などの指定管理者との契約更新、ロータリー（雪を飛ばす）除雪車を追加することが審議されます。

補正予算の概要は左上の表に示しましたが、物価上昇による新庁舎の建設費の増額、農業機械の導入、人件費の増額等になります。

また、給与条例改正については、給料1・1％と期末勤勉手当を0・1ヶ月引上げです。

補正予算の主な事業概要

項　　目	内　　容	補 正 額
庁舎整備事業	物価上昇による工事費の増	1億3,000万円
市民税、住民基本台帳、介護保険	システム改修費	1,673万円
畑作振興対策事業	農業機械導入等に対する補助金	3,841万円
沿岸漁業振興事業	密漁監視カメラの整備	250万円
路線バス対策事業	路線バス維持の補助金	6,047万円
市営住宅解体事業	市営住宅解体費の追加	1,100万円
身体障がい者医療給付事業	給付対象者の増加	2,187万円
児童館、教育施設冷房設備整備	冷房設備の整備	700万円
帯状疱疹予防接種助成事業	助成件数の増加	239万円
人件費（一般職、特別職、会計年度任用職員、特別会計分）		4,689万円
（上記の概要は事業全てではありません）	合　計	3億3,537万円

会計年度任用職員に勤勉手当が支給

また、会計年度任用職員給与条例に、勤勉手当が書き込まれます。労働組合などの改善を求める運動により、今年５月に地方自治法に勤勉手当の支給可能と改正されました。今年度は期末手当0・1ヶ月の引上げ、来年度からは2ヶ月分が支給となります。市役所に200人以上もいる会計年度任用職員には朗報です。

松浦議員、村椿議員の一般質問

一般質問は12日㈫からで、12人の議員が質問します。

村椿議員（８番目）は「地産地消の学校給食を」と「路線バスに敬老パスを」について質問します。

また、松浦議員（10番目）は「物価高騰対策」、「公園整備」、「市営住宅の管理」について質問します。

議会の傍聴をお願いします。

公園への雪置きについて

市の広報とともに配付された除雪についてのチラシでは、公園を活用するモデル地区が示されました。

除雪の負担を減らすためこれからも声を届けます。

モデル地区

公園名	住所
向陽ヶ丘第2公園	向陽ヶ丘5丁目
自由ヶ丘公園	潮見　5丁目
潮見第4公園	潮見 10 丁目
つくし3丁目公園	つくし 3丁目
オホーツク児童公園	鱒浦 4丁目

松浦さとし奮戦メモ！

自民党は、自民党の政治資金団体「国民政治協会」を通じて企業・団体から献金を集めています。献金した企業は有名な大企業がずらりと並んでいます。国民政治協会は２０２２年の収入が約29億円余り。このうち95・９％が企業・団体からの献金です。１０００万円以上の大口献金をしている大企業と業界団体は62あり、合計で15億２４００万円に上ります。

献金企業の上位10社には、経団連の役員企業がずらりと並びます。企業単体で最も多いのが住友化学とトヨタ自動車で５０００万円。住友化学の十倉雅和会長は「財界の総理」と称される経団連会長です。過去に２人の会長を出したトヨタは別格で、トヨタグループの日野自動車、ダイハツ工業、デンソーなどを含めると１億１０００万円を超えます。

日本の政治は、大企業から政権与党への献金により「大企業優遇の政治」に歪められているのです。

村ちゃんが駆ける

春の市議選の時に、「網走は色んなものが取れていい所なのに寂しくなっていく。地元のものが買える市場をつくってほしい。観光客を案内する所がない」と切実な要望がありました。網走青果卸売市場が新町にありましたが、今は漁業協同組合の市場しかありません。

網走の食育計画の基本は「こころも　からだも　食が育む　元気なあばしり」です。地元で取れる新鮮な魚、野菜、肉などが食べられることで元気なろう、元気なまちになろうということです。しかし、扱っているお店は限られていて、市民に知らされていません。魚などは大都市圏で消費されている状況です。

地域で取り組む食育は、市民が健康的な食生活習慣を養い、地域の食文化を大切にしながら、「地産地消」を進めることを基本にしています。学校給食のパンは網走産の小麦でできています。農協の直売所などの野菜も使われています。地元のものをもっと給食に活用し、「地産地消」のまちをつくりたい。

流氷

歩道を歩いているとアスファルトの隙間から生育したイヌホオズキの６～７㎜の球形の黒い実がたわわに着いているのに出会いました。すごい生命力です。ナス科の鬼灯（ほおずき）の仲間です。鬼灯は、液果を蕚（がく）が大きくなり嚢（ふくろ）になって包んでいます。イヌホオズキは蕚が液果の付け根にあるだけの裸です▼イヌだとかカラスだとかが名前の前に着くと「役立たず」という暗喩がこめられます▼この他に北米原産のアメリカイヌホオズキもあります。同じく「１・５㎝の球形の黄色になる液果を付けるワルナスビもあります。イヌホオズキは、白い花で径８㎜の星形です。アメリカイヌホオズキは径４～５㎜の紫で星形です。ワルナスビは２・５㎝の淡紫色の星形です。いずれの花もきれいな花です。▼しかし、これらはソラニンという神経毒を含む毒草です。さらに生えだしたら手に負えなく増えます。これらは、喰えない、使えない、ああジャマという逞しさで役立たずでも雑草の世界をおう歌しています。

博物館友の会
会員　小　森